

日本植物分類学会第12回大会 (千葉大学) プログラム

日程：2013年3月14日～17日

会場：千葉大学西千葉キャンパス・けやき会館、懇親会会場：千葉大生協
(交通アクセス：総武線 西千葉駅から徒歩7分、京成電鉄 みどり台駅から徒歩7分)

ホームページ： <http://bean.bio.chiba-u.jp/jsps2013/>

連絡先：日本植物分類学会第12回大会準備委員会 (詳細はホームページをご覧ください)



The 12th Annual Meeting of
the Japanese Society for
Plants Systematics

3月14日

14:00～ 編集委員会、16:00～ 評議員会

3月15日

(☆は大会発表賞エントリー者)

8:30～ 受付

9:00-9:15 1a01 VATANPARAST Mohammad^{☆1},
SNAK Cristiane², de QUEIROZ Luciano P.²,
KAJITA Tadashi¹ (1Chiba University, 2State
University Feira de Santana,) Pantropical
distribution of the genus *Canavalia* achieved
by long distance dispersal ability of sea-
drifted species

9:15-9:30 1a02 Miryeganeh Matin^{☆1}, Takayama
Koji², Tateishi Yoichi³・Kajita
Tadashi¹ (1Chiba University, 2The University
Museum, The University of Tokyo. 3University
of The Ryukyus) Migration Rate, Effective
Population size and divergence time across
populations of a pan-tropical plant with sea-
drifted seeds, *Ipomoea pes-caprae* -- evidence
from nuclear markers

9:30-9:45 1a03 伊藤 優^{☆1}・田中 法生² (1カンタ
ベリー大・生物科学; 2国立科博・植物園)
Toward the comprehension of the origin of
antitropical distributions: A taxonomic review
of cool-temperate aquatic plants in Asia and
Oceania

9:45-10:00 1a04 Gutiérrez Ortega José
Said[☆] (Graduate School of Science, Chiba
University) Phylogeography of the
endangered cycad *Dioon sonorense*
(Zamiaceae, Cycadales) from Sonora, Mexico.
An approach to clarify the evolution of the
genus *Dioon*.

10:00-10:15 1a05 矢野 興一^{☆1}・池田 博¹・JIN
Xiao-Feng²・星野 卓二³ (1東大・博物館; 2中
国・杭州師範大学; 3岡山理大・生地) スゲ属
タガネソウ節の系統関係およびその染色体進化

10:15-10:30 1a06 JARUWATTANAPHAN
Tassanai^{☆1}・MATSUMOTO Sadamu²・
WATANO Yasuyuki¹ (1千葉大・院・理; 2筑波
植物園)

Reconstructing Hybrid Speciation Events in
the *Pteris cretica* Group (Pteridaceae) in
Japan and Adjacent Regions

10:45-11:00 1a07 堀 清鷹^{☆1}・戸野 晶喬¹・富士本
和人²・海老原 淳³・綿野 泰行²・村上 哲明¹ (1
首都大・牧野標本館; 2千葉大・進化系統学; 3国
立科学博物館) DNA情報に基づく日本産イタ
チシダ複合体 *Dryopteris varia* complex の分類学
的再検討

11:00-11:15 1a08 山本 薫^{☆1}・駒井 優子¹・加藤 早
百合²・川東 正幸²・渡邊 眞紀子²・村上 哲明¹
(1首都大・牧野標本館; 2首都大・都市環境)
伊豆大島における無配生殖種ベニシダと有性生殖
種ハチジョウベニシダの分布を決める環境要因

11:15-11:30 1a09 須貝 杏子^{☆1}・鈴木 節子²・永光
輝義²・村上 哲明¹・加藤 英寿¹・吉丸 博志³ (1
首都大・牧野標本館; 2森林総研; 3森林総研・多
摩森林科学園) 小笠原諸島父島列島における
シマホルトノキの生育環境に対応した遺伝的分化

11:30-11:45 1a10 高山 浩司^{☆1}・López Sepúlveda
Patricio²・Stuessy Tod³ (1東大・博物館; 2コ
ンセプション大・植物; 3ウィーン大・植物系統
進化) 種分化様式の違いに着目した海洋島固
有種の遺伝的多様性の時空間的変遷の解明

11:45-12:00 1a11 藤浪 理恵子^{☆1}・斎木 未沙都²・井
戸川 藍²・河上 愛里²・堤 麻衣子²・山田 敏弘³・
今市 涼子² (1筑波大・生命環境; 2日女大・理・
物生; 3金沢大・理工・自然システム) シダ植
物小葉類の根頂端分裂組織の比較解剖学

13:15-13:30 1p01 齊藤 由紀子^{☆1}・中村 剛²・彭
鏡毅²・横田 昌嗣³・國府方 吾郎¹ (1科博・植
物; 2中研院・生物多様性中心; 3琉大・理・海洋
自然) 広義シマフジバカマ (キク科) にみら
れる核リボゾームDNA、ITS領域の変異

13:30-13:45 1p02 梅田 育実[☆]・渡邊 幹男・常木
静河・芹沢 俊介 (愛教大・生物) ニホンタン
ポポの地理的変異はどのように形成されたか -
マイクロサテライトマーカーによる推定-

13:45-14:00 1p03 戸野 晶喬^{☆1}・岩崎 貴也²・瀬尾
明弘³・伊藤 元己²・村上 哲明¹ (1首都大・牧野
標本館; 2東大・院・総合文化; 3京大・院・
理) 東西で異なる歴史を経てきた温帯林集団
の交雑帯について一遺伝解析と地理情報システム
解析による形成要因の推定-

14:00-14:15 1p04 李 尚龍[☆]・牧 雅之 (東北大
学・植物園) オオバギボウシとコバギボウシの
比較系統地理学的研究

14:15-14:30 1p05 中路 真嘉[☆]・菅原 敬 (首都
大・牧野) スイカズラ属植物の系統と花形質の
進化

14:30-14:45 1p06 首藤 光太郎^{☆1}・兼子 伸吾¹・黒
沢 高秀² (1福島大院・共生システム理工; 2福島
大・共生システム理工) イチヤクソウとヒト
ツバイチヤクソウの連続的な形質の変化は遺伝的
に異なる複数の系統の存在によって生じている

15:00-15:15 1p07 永野 萌^{☆1}・岩崎 貴也²・松下
範久³・宝月 岱造³・平岡 雅規⁴・嶋田 智¹ (1お
茶大・院・生命科学; 2東大・院・総合文化; 3東
大・農; 4高知大・総合研究センター) 近縁な
アオサ2種にみられる遺伝子流動

15:15-15:30 1p08 松崎 令^{☆1}・原 慶明²・野崎 久
義¹ (1東京大・院理・生物科学; 2山形大・理・
生物) 日本産氷雪緑藻クロロモナス1新種の
分類学的研究

15:30-15:45 1p09 安藤 夏太郎^{☆1}・矢野 興一²・宮
本 太¹ (1東農大・農; 2東大・博物館) スゲ
属ゴウソウの分類学的研究 真のゴウソウとは?

15:45-16:00 1p10 Legrand Julien^{☆1}・山田 敏弘²・
西田 治文¹ (1中央大・理工・生命科学; 2金沢
大・理工・自然システム) 和歌山県の前期白

亜系西広層における孢子・花粉化石と日本における被子植物の出現の時期

- 16:00-16:15 1p11 宇野 邦彦^{☆1}・濱崎 恭美¹・村上 哲明²・加藤 英寿²・海老原 淳¹ (1科博・植物研究部；2首都大・牧野標本館) さく葉標本から抽出されたDNAの断片化評価
- 16:15-16:30 1p12 港 翼^{☆1}・長谷川 匡弘²・志賀 隆¹ (1新潟大・教育；2大阪自然史) どのような博物館標本の種子が生存しているのか？
- 16:30-18:30 ポスターセッション

3月16日

- 8:00～ 受付
- 8:30-8:45 2a01 柿嶋 聡^{☆1}・吉村 仁¹・守田 智²・邑田 仁³ (1静岡大・創造院；2静岡大・工；3東大院・理・植物園) 周期的一斉開花が引き起こす非対称な種間交雑
- 8:45-9:00 2a02 大槻 達郎^{☆1}・森 泉²・且原 真木²・高見 常明²・瀬戸口 浩彰¹ (1京大院・人環；2岡山大・植物研) 琵琶湖に陸封されたハマエンドウと海浜集団の間に生じた光合成特性の分化
- 9:00-9:15 2a03 大久保 理子^{☆1}・亀岡 慎一郎⁴・藤井 伸二²・中山 祐一郎³・西野 貴子¹ (1大阪府大・院・理；2人環大；3大阪府大・院・生命環境；4大阪府大・理) サワシロギクと蛇紋岩性近縁種シブカワシロギクの生活史特性における集団間分化
- 9:15-9:30 2a04 下川 悟史[☆]・村上 哲明 (首都大・牧野) ハコネウツギ (*Weigela coraeensis*) における花色変化の受粉と結実への影響
- 9:30-9:45 2a05 鈴木 美季^{☆1}・下川 悟史²・大橋 一晴¹ (1筑波大院・生命環境；2首都大院・理工・生命科学) 花色変化する植物のコストパフォーマンスは高いのか？～不変型植物との違いをヒントにして
- 9:45-10:00 2a06 坂本 亮太^{☆1}・森長 真一¹・伊藤 元己¹・川窪 伸光² (1東大院・総合文化・広域科学；2岐阜大・応用生物・生産環境) ハイスピード撮影が明らかにする目で見てはわからない花と送粉者の関係
- 10:15-10:30 2a07 秋山 忍¹・Thijsse Gerard²・Esser Hans Joachim³・大場 秀章⁴ (1科博・植物；2National Herbarium Nederland；3Botanische Staatssammlung München；4東京大学総合研究博物館) 日本からシーボルトとツッカーニーによって記載された植物のタイプカタログ化に向けて
- 10:30-10:45 2a08 門田 裕一¹・三浦 憲人² (1科博・植物；2ホシザキグリーン財団) 日本産アザミ属 (キク科) の分類学的研究11—山口県産の種
- 10:45-11:00 2a09 米倉 浩司^{*} (東北大・植物園) 中国大陸におけるイタドリ¹の記録と日本におけるイタドリ²の記録
- 11:00-11:15 2a10 高橋 和規¹・下田 直義² (1森林総研関西支所；2森林総研東北支所) *Magnolia salicifolia* (モクレン科) の二型的分化と分類記載の再検討
- 11:15-11:30 2a11 山崎 真実¹・高橋 英樹² (1札幌市博 (北大農院)；2北大総博) 日本産 *S. natans* L. ヒナミクリの形態および産地について
- 11:30-11:45 2a12 堀井 雄治郎^{*} (なし) 秘境和賀山塊、保全へのご理解とご支援を
- 13:00-13:15 2p01 渡邊 幹男¹・森本 苑良¹・矢原 徹一²・中村 剛³・芹沢 俊介¹ (1愛教大・生物；2

九大・院・生物；3台湾中央研究院) 日本産赤花系ナガバノイシモチソウの実体の解明

- 13:15-13:30 2p02 須山 知香¹・中川 愛梨²・猪狩 雅史³・植田 邦彦⁴ (1岐阜大・教育・理科生物/金沢大・院・自然科学；2岐阜大・教育・理科生物；3オフィスメイブル；4金沢大・理工・自然システム) ナガハシスミレの分類学的再検討
- 13:30-13:45 2p03 大野 吉史・東 浩司・田村 実^{*} (京都大・院・理・植) 日本産シオゲダ科 (ユリ目) の分子系統と分類学的再検討
- 13:45-14:00 2p04 温 真智愛^{*} (熊本大学・理・理・生物) 宮崎県におけるシロヨメナの溪流型形態変異 <発表者による講演取り消し>
- 14:00-14:15 2p05 國府方 吾郎¹・中村 剛²・平山 由美子¹・横田 昌嗣³ (1科博・植物；2台湾中央研究院；3琉大・理) 琉球列島におけるスナヅル (クスノキ科) のハプロタイプ多型の地理的構造
- 14:15-14:30 2p06 早稲倉 速人¹・藤井 伸二²・牧雅之³ (1東北大・院・生命；2人間環境大・人間環境；3東北大・植物園) 葉緑体DNAと核DNAを用いたセキショウモ (トチカガミ科) の系統地理学的解析
- 14:30-14:45 2p07 福島 健児¹・野澤 昌文³・西山 智昭⁴・重信 秀治¹・住川 直美²・長谷部 光泰¹ (1総研大・生命科学・基礎生物学；2基礎生物学研究所；3遺伝学研究所；4金沢大・学際科学実験センター) 食虫植物における消化酵素遺伝子の進化
- 14:55-15:20 <受賞記念講演> 系統地理と環境適応を基盤にした植物の種分化研究 瀬戸口浩彰 (京都大学)
- 15:20-15:45 <受賞記念講演> 「カヤツリグサ科植物の種間雑種とその形成要因に関する研究」と周辺 谷城勝弘 (千葉県立佐原高等学校)
- 15:45-16:05 <受賞記念講演> 藻類を用いた種分化研究；性フェロモンによる生殖隔離と生殖様式の進化 土金勇樹 (日本女子大学)
- 16:05-17:30 学会賞授与式・総会
- 17:30-18:30 ポスターセッション
- 18:30-20:30 懇親会 (於千葉大生協)

3月17日

- 8:00～ 受付
- 8:30-8:45 3a01 岩崎 貴也¹・花田 耕介²・永野 惇³・伊藤 元己¹・彦坂 幸毅⁴・森長 真一¹ (1東大・院・総合文化；2九州工大・理研P S C；3J S T さきがけ、京大・生態研；4東北大・院・生命) 標本ゲノム解析で探る過去100年間の個体群動態と適応進化—伊吹山のハクサンハタザオ・イブキハタザオを例に
- 8:45-9:00 3a02 西田 佐知子¹・高倉 耕一²・西田 隆義³ (1名古屋大・博；2大阪市環境研；3滋賀県大・環境生態) 繁殖干渉の有効距離から植物の分布を考える
- 9:00-9:15 3a03 山川 千代美¹・増尾 はづき²・松本 みどり²・矢部 淳³・三宅 尚⁴ (1琵琶湖博；2千葉大・理；3国立科博；4高知大・理研) 鮮新—更新統古琵琶湖層群産トガサワラ属球果化石の分類学的研究
- 9:15-9:30 3a04 海老原 淳¹・中藤 成実¹ (1科博・植物；2所属なし) 日本産および台湾産ハリガネワラビ類 (ヒメシダ科) の再検討
- 9:30-9:45 3a05 山住 一郎^{*} (大阪府教育センター・理科教育) ハチジョウベニシダの倍数体形成について

- 9:45-10:00 3a06 水谷 有希*・角川 洋子・邑田 仁
(東大院・理・附属植物園) ゼンマイ類の野外
集団における遺伝的多型の解析
- 10:15-10:30 3a07 八田 洋章* (科博・樹形研究
会) 鱗芽は裸芽から派生したか?
- 10:30-10:45 3a08 野崎 久義¹・楊 億¹・丸山 真一
朗²・洲崎 敏伸³ (1東京大・理・生物; 2ダルハ
ウジー大学; 3神戸大・理・生物) 多遺伝子大
系統解析における細胞内寄生虫/繊毛虫がもたら
す二次植物ハプト藻の系統的位相への影響
- 10:45-11:00 3a09 保坂 健太郎*・宇野 邦彦 (国立
科博・植物) 菌類標本におけるDNAの保存状
態
- 11:00-11:15 3a10 小板橋 基夫¹・月星 隆雄²・篠原
弘亮³・吉田 重信¹・對馬 誠也¹ (1農環研; 2畜草
研; 3東京農大) 農業環境技術研究所が所蔵す
る微生物さく葉標本目録のWeb公開
- 11:15-11:30 3a11 森口 淳樹¹・前田 修宏²・萬代
功²・藤村 達人³・秋廣 高志¹ (1島根大学・生物
資源; 2TRWorkers; 3筑波大学・生命環境)
GBIFのデータを用いて植物種の分布図を作成す
る試み
- 11:30-11:45 3a12 村上 哲明¹・濱田 朗子²・伊藤
元己² (1首都大・牧野標本館; 2東大院・総合文
化) ABS問題と海外での植物調査・採集, 日
本国内への標本の持ち込みにおける注意点
- 13:00~ 公開シンポジウム 「千葉県における植物の
個体群保全・生態系再生の試み」

ポスター発表

(3月15日 16:30 - 18:30; 3月16日 17:30 - 18:30)

- P01 船木 拓也*・船引 健太・大久保 理子・西内
美穂子・西野 貴子 (大阪府大・院・理) 日本
のアキノキリンソウ (広義) における外部形態の
地理的変異の解析
- P02 船引 健太*・船木 拓也¹・鈴木 武²・森田 竜
義³・西野 貴子¹ (1大阪府大・院・理; 2兵庫
県博; 3新潟市) 西日本における黄花型倍数体
タンポポの形態比較と遺伝的解析
- P03 瀬尾 明弘*・篠原 渉²・村上 哲明³・堀田 満⁴
(1京大・院・理・植物; 2香川大・教育; 3首都
大・牧野標本館; 4西南日本植物情報研究所)
日本産セリは少なくとも2種にわかれる
- P04 福田 知子*・Taran Aleksandr²・Yakubov
Valentin³・高橋 英樹⁴・池田 博⁵ (1科博・動
物; 2サハリン植物園; 3ウラジオストク生物土壌
研; 4北大・博物館; 5東大・博物館) エゾクロ
クモソウ *Saxifraga purpurascens* 群 (ユキノシ
タ科) の分類学的再検討
- P05 吉田 政敬*・塚谷 裕一²・横山 潤³ (1山形
大・院・理工; 2東大・院・理・生物科学; 3山形
大・理・生物) ツボスミレ *Viola
verecunda* (スミレ科) における種内分類群間の
遺伝的分化と葉形態比較
- P06 小栗 恵美子*・菅原 敬¹・横山 潤²・村上 哲
明¹ (1首都大・牧野標本館; 2山形大・理・生
物) 日本及び周辺域に分布するアオガンピ属
植物の系統解析
- P07 小野 潤哉*・高山 浩司²・
Meenakshisundaram S. H.³・Wee A. K. S.⁴・
Saleh M. N.⁵・Webb E. L.⁴・朝川 毅守¹・Adjie
B.⁶・Ardli E. R.⁷・Soe K. K.⁸・Tung N. X.⁹・
Malekal N. B.¹⁰・rizal On¹¹・Yllano O. B.¹²・
Sungkaew S¹³・Salmo III S. G.¹⁴・綿野 泰行¹・
馬場 繁幸¹⁵・立石 庸一¹⁶・梶田 忠¹ (1千葉大
院・理・生物; 2東大・総合研究博物館; 3M.S.

- Swaminathan Research Foundation;
⁴National University of Singapore; ⁵Putra
Malaysia University; ⁶Bali Botanic Garden;
⁷Jenderal Soedirman University; ⁸University
of Yangon; ⁹Hanoi National University of
Education; ¹⁰Universiti Malaysia Sabah;
¹¹Universitas Sumatera Utara; ¹²Adventist
University of the Philippines; ¹³Kasetsart
University; ¹⁴Ateneo de Manila University; ¹⁵
琉球大・熱研セ; ¹⁶琉球大・教育) マングロー
ブ植物オヒルギの分子系統地理学的解析
- P08 太田尾 朋子*・小林 達明・上原 浩一 (千葉
大院・園・緑環) 次世代型シーケンサー
(NGS) を用いたマメ科コマツナギ (*Indigofera
pseudotinctoria* Matum.) のSSRマーカーの開発
- P09 田中 啓介*・高原 美規 (長岡技大院・工・
生物) 絶滅危惧種イソニガナの分布と遺伝的多
様性
- P10 山路 風太*・朝川 毅守 (千葉大院・理・生
物) キツネノカミソリの訪花昆虫と生殖への影
響
- P11 新村 芳美*・高野 剛史²・山路 風太¹・富澤
祐紀¹・梶田 忠¹ (1千葉大院・理・生物; 2東大
院・理・生物科学) 送粉者の季節的変化から
推測されるオシロイバナの花多型の維持機構
- P12 山田 孝幸*・牧 雅之 (東北大・植物園)
伊豆諸島固有種ハチジョウイボタと本州近縁種オ
オバイボタにおける花部形態・送粉昆虫相および
集団遺伝構造の比較
- P13 秋葉 由紀彦* 近所で見つけた新種と思われ
る植物たち
- P14 横川 昌史*・大滝 典雄²・高橋 佳孝³ (1大阪
自然史博; 2元熊本畜試阿蘇支場; 3近中四農研セ
ンター) 伝統的な植物利用も絶滅の危機? -熊
本県阿蘇地方における盆花の種多様性の減少と種
組成の地域変異-
- P15 西内 美穂子*・矢原 徹一²・西野 貴子¹ (1大
阪府大・院・理; 2九大・院・理) キク科二倍
体における重複したアルコール脱水素酵素遺伝子
の分子進化
- P16 横井 力*・大塚 孝一¹・尾関 雅章¹・蛭間 啓²
(1長野県環境保全研究所; 2飯田市美術博物
館) 長野県植物誌(1997)出版以降に確認され
た新産維管束植物
- P17 上原 歩*・中田 政司²・岩科 司³ (1東農工
大・院・連合農; 2富山県中央植物園; 3国立科
博・植物) フラボノイドから見たチシマコハ
マギクとコハマギクの関係
- P18 大槻 涼*・角川 (谷田辺) 洋子² (1駒澤大
総合教育、日本女子大 理 物生; 2東京大
院 理 附属植物園) ゼンマイ類における連
鎖地図の精緻化にむけて
- P19 山田 香菜子*・角川 (谷田辺) 洋子¹・加藤
英寿¹・村上 哲明¹ (1首都大・牧野標本館; 2東
大・理・植物園) シマオオタニワタリ類の受
精と孢子体の発生
- P20 今井 亮介* (千葉大院・理・生物) ヒメオ
ニヤブソテツ (*Cyrtomium falcatum* subsp.
Littorale) の集団の遺伝的多様性と交配様式の進
化
- P21 鈴木 雅大*・橋本 哲男²・野崎 久義¹ (1東京
大・院理・生物科学; 2筑波大・院・生命環境)
日本産紅藻ベニスナゴは複数の隠蔽種を含む
- P22 佐藤 博俊*・服部 力²・東樹 宏和¹ (1京大
院・地球環境学堂; 2森林総研関西) 東南アジ
ア熱帯雨林における根圏共生菌の多様性パターン
と宿主特異性の解明

- P23 濱田 朗子¹・村上 哲明²・伊藤 元己¹ (1東大・院・総合文化；²首都大・牧野標本館) 「名古屋議定書」：遺伝資源利用から生ずる利益の公正な配分 (ABS) の植物分類学研究に及ぼす影響を考える
- P24 西田 治文¹・植村 和彦²・寺田 和雄³・朝川 毅守⁴・矢部 淳⁵・山田 敏弘⁶・栗田 裕司⁷・Hinojosa, Luis Felipe⁸・Rancusi, Miguel⁹・Leppe, Marcelo¹ (1中央大・院・生命；²科博・名誉研究員；³福井県立恐竜博；⁴千葉大・院・生命；⁵科博・地学研究部；⁶金沢大・院・自然科学；⁷新潟大・理；⁸Fac. Sci. U. Chile；⁹Lic. Compania de Maria, Santiago；¹⁰Inst. Nac. Antartica, Chile) チリパタゴニアの後期白亜紀から古第三紀の植物ゴミ化石調査予報
- P25 成田 土彦・松本 みどり* (千葉大院・理・地球) イチョウの葉の形態変化と進化過程についての予察的報告
- P26 北山 太樹¹・鈴木 雅大² (1科博・植物；²東京大・院理・生物科学) 小笠原近海から得られた深所性紅藻2種について
- P27 有川 智己¹・西村 直樹² (1鳥取県博；²岡山理大・自然植物園) 鳥取県のミズゴケ類とレッドデータブックとつりについて
- P28 厚井 聡¹・石崎 公庸²・橋本 隆¹・河内 孝之²・中島 敬二¹ (1奈良先端大・バイオ；²京大院・生命) 初期胚発生に関わるRKD4遺伝子の祖先的機能の解析
- P29 角川 洋子¹・堤 千絵²・水谷 有希¹・平山 裕美子²・松本 定²・加藤 雅啓² (1東大・植物園；²科博・植物) ゼンマイとヤシヤゼンマイの共有派生形質の適応進化
- P30 林 蘇娟*・松浦 和枝 (島根大・生物資源) ベニシダ類の多型形成機構——無配生殖と有性生殖を併用するベニシダ三倍体「無配生殖型」
- P31 山田 俊太郎・瀬戸口 浩彰* (京都大院・人環・相関環境) 九州と琉球列島におけるソテツの系統地理
- P32 中川 昌人* (島根大・汽水セ) 琉球列島における熱帯性海草類ベニアマモ、リュウキュウアマモ (シオニラ科) の遺伝的多様性
- P33 池谷 祐幸¹・間瀬 誠子¹・山本 俊哉¹・岩坪 美兼²・中尾 登志雄³ (1農研機構果樹研；²富山大・院・理工学；³宮崎大・農) 絶滅危惧で固有種のノカイドウには遺伝的多様性が殆どない
- P34 糟谷 大河¹・宇野 邦彦²・保坂 健太郎² (1小松市博；²国立科博・植物) 茨城県東海村におけるオオウメガサソウの利用菌根菌相と遺伝的多様性の解析
- P35 清水 勝也¹・藤井 伸二²・石濱 史子³・牧雅之⁴ (1東北大・院・生命科学；²人間環境大・人間環境；³国立環境研；⁴東北大・植物園) ギンギシ属の在来種ノダイオウへの同属外来侵入種の遺伝的な侵入
- P36 福原 達人*・森田 みなみ (福岡教育大・理科) タブノキ (クスノキ科) の異型異熟性と型間・型内交配における結実率
- P37 河原 孝行¹・花井 亮²・齋藤 義紀³・廣田 洋⁴・龔 海⁵・黒田 智明² (1森林総研・四国；²立教大・理；³長崎大・薬；⁴理化学研；⁵中国科学院昆明植物研) 中国横断山脈に産する *Ligularia virgaurea* における隠蔽種の可能性
- P38 兼子 伸吾*・首藤 光太郎・黒沢 高秀 (福島大・理工) 1930年代に採取された植物標本を用いた絶滅個体群の系統解析—イワキアブラガヤの事例
- P39 大井・東馬 哲雄¹・渡邊・東馬 加奈¹ (1東大院・理・植物園；²私立武蔵高中) オオバウマノスズクサ群の交雑集団における個体ベースの多型解析
- P40 黒田 萌子*・大井・東馬 哲雄・邑田 仁 (東大・理・植物園) ツルコケモモ類のDNA多型解析
- P41 勝木 俊雄¹・加藤 珠理¹・松本 麻子¹・吉丸 博志¹・津田 吉晃²・向井 謙³ (1森林総研；²ウブサラ大EBC；³岐阜大) ツクシヤマザクラの遺伝的変異と雑種個体の識別について
- P42 日比野 佑希¹・源内 伸秀²・植田 邦彦³・須山 知香⁴ (1岐阜大・教育・理科生物；²能登島自然の里ながさき；³金沢大・理工・自然システム；⁴岐阜大・教育・理科生物、金沢大・院・自然科学) 石川県能登島産エゾノレンリソウの分類学的考察
- P43 前澤 良樹¹・倉田 薫子² (1都市大・自然；²横国大・教育) 伊豆大島と八丈島におけるハチジョウイヌツゲの葉形変異とその解剖学的要因
- P44 小久保 貴幸¹・立石 庸一²・梶田 忠¹ (1千葉大学・理・生物；²琉球大学・教育・理科) 海流散布植物ハマナタマメの散布能力の喪失と分化
- P45 根本 秀一¹・兼子 伸吾²・黒沢 高秀³ (1放送大・院・文化科学；²福島大・院・共生システム理工；³福島大・共生システム理工) 葉緑体DNAによるクワガタソウとヤマクワガタの分類学的研究
- P46 高島 路久¹・長谷川 順一²・遊川 知久³ (1栃木県立博物館；²栃木県植物研究会；³国立科博・植物園) 日本新産のラン科植物コケイランモドキ (*Oreorchis coreana* Finet)
- P47 上原 浩一¹・斎木 健一²・安藤 敏夫¹ (1千葉大院・園芸；²千葉県立中央博) 日本産オオバコ科クガイソウ属スズカケソウ節の一新種 *Veronicastrum noguchii* (イスマスズカケ)
- P48 青木 慎哉¹・大場 達之²・宮田 昌彦¹・大場 広輔³ (1千葉中博・分館海博；²東京都世田谷区奥沢；³東大院植物園・日光分園) タマアジサイ類の分類と分布
- P49 田中 伸幸¹・船越 英伸²・Shein Gai Ngay³ (1牧野植物園；²沖縄大；³ミャンマー環境保全・林業省) ミャンマー・ビクトリア山のショウガ科植物相
- P50 藤井 紀行¹・植田 邦彦²・綿野 泰行³・清水 建美⁴ (1熊本大院・自然科学・理・生命科学；²金沢大院・自然科学・生命科学；³千葉大院・理・生物；⁴長野県松本市) 本州中部山岳固有種 *Pedicularis japonica* の分類学的復活
- P51 織田 二郎*・永益 英敏 (京都大・総博) クササゲの新変種ナガボクササゲ
- P52 芹沢 俊介*・角田 起広・猶村 有希・渡邊 幹男 (愛知教育大・生物) 関東平野産のタデ属の1新種エドガワヌカボタデ
- P53 常木 静河¹・角田 起宏¹・渡邊 幹男¹・芹沢 俊介¹・市川 正人²・山脇 和也³ (1愛知教育大・生物；²四日市市；³桑名市) *Bupleurum quadriradiatum* (セリ科) の再発見
- P54 角田 起広*・加藤 淳太郎・芹沢 俊介 (愛知教育大・生物) 本州中部産ヒヨドリバナ類の核DNA含量
- P55 早川 宗志¹・柿本 成美²・大賀 教平²・松山 佳那子²・横山 潤³・伊藤 桂⁴・荒川 良⁴・池田 浩明¹・福田 達哉⁴ (1農環研；²高知大院；³山形大・理；⁴高知大・農) マメヅタラン (ラン科) における鋭頭葉形態の発見